

<第6学年分科会 提案発表>

言葉による見方・考え方を働かせ、考えを形成し、共有する単元の構想と展開

— 単元「伝えよう！私たちの提案 ～大津西小 スーパー大作戦！～」の実践を通して —

鳴門市大津西小学校教諭 柳澤 梨理子

1 はじめに

本学級の児童に年度初めに国語科に関するアンケートを実施したところ、「書くこと」が好きと答えた児童が非常に少ないことがわかった。また、みんなの前で「話すこと」への抵抗はあるが、自分の意見や考えを持っており、少人数での話し合い活動ならお互いの意見や考えを伝え合うことができる児童が多いこともわかった。作文を書く学習の際には、書く前から「できない」「無理」とあきらめたり、何から書けばよいかわからず止まってしまう児童がいる。そこで、話し合いの活動を通して、「書くこと」への意欲を高め、書く力をつけさせ、「できる」という自信をつけさせたいと考え、本実践研究に取り組んだ。

2 研究の方向

- (1) 考えを形成する過程における指導の工夫
- (2) 考えを形成し、共有する学びの評価の工夫
- (3) 言語能力を育てるための工夫（常時指導）

3 研究の実際

- (1) 「伝えよう！私たちの提案～大津西小スーパー大作戦！～」(光村図書 6年) の実践
 - ①学習指導案
 - ②授業・研究会記録
 - ③学習指導の実際
- (2) 言語能力を育てるための工夫
 - ①常時指導
 - ②学校全体としての取組

4 おわりに

一人一人の学びが深まるよう、単元を構成し、授業を進める過程で、「言葉による見方・考え方を働かせる、考え方を形成する、共有すること」を繰り返すことを意識して実践に取り組んだ。この実践を通して多くの児童が意欲的・主体的に学び、学びを振り返ることで成長した自分を感じることができたように思う。今後も、言葉に興味を持ち、工夫しながら表現する活動を多く取り入れていきたいと考えている。また、教師自身もたくさんの言葉に敏感に反応し、たくさんの豊かな表現に触れさせるなど、日々工夫しながら実践を続けていきたい。